

令和5年度 第5回協働のまちづくり推進委員会 会議録

日時	令和6年3月29日（金）13:30～15:30
場所	富里市役所 本庁舎3階第3会議室
出席委員	清水会長、小川副会長、岡野委員、新居委員、石井委員、宇井委員、武重委員、中野委員、牧野委員
欠席委員	新委員、秋葉委員、朝倉委員
事務局	市民活動推進課 細野課長、佐藤主幹、日谷副主幹、吉田、森久保 まちづくりコーディネーター 益田
傍聴者	1名

[会議次第]

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

- (1) 富里市多文化共生推進プランについて
- (2) 第2次富里市協働のまちづくり推進計画（改訂版）の令和5年度の進捗状況について
- (3) 第2次富里市協働のまちづくり推進計画（改訂版）の取組に対する総括意見（案）の作成について
- (4) その他

4 そ の 他

- (1) 実施事業及びとみさと市民活動サポートセンターについて
- (2) その他

5 閉 会

[会議概要]

	<p>次第3 議題</p> <p>－「協働のまちづくり推進委員会の運営に関する要綱」第3条第1項により、会長が議事の進行を務める－</p>
会長	<p>(1) 富里市多文化共生推進プランについて</p> <p>それでは、議題（1）富里市多文化共生推進プランについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>富里市多文化共生推進プランについて、パブリックコメントを実施したところ意見がなかったため、素案のまま策定しました。</p> <p>今後は、「互いの文化、習慣等を理解、尊重し合い、全ての市民が幸せに暮らせる富里」の実現に向け、取り組んでまいります。</p>
会長	<p>ただいまの説明について、委員の皆様から御意見はありますか。</p>
A 委員	<p>素案のままということは、前回の委員会でいただいた資料から変更なしということでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
会長	<p>そのほか、何かございますか。</p>
B 委員	<p>小学校区別の外国人人口の割合が書かれていますが、外国人研修センターの人数も入っていますか。</p>
事務局	<p>富里市民であれば、入っています。</p>
B 委員	<p>研修センターの外国人の方は、すぐに市外に出てしまいます。支援の方法が難しいと感じますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>たとえ、ひと月であっても、地域の方と関わるのが大切だと考えています。昨年10月には、日吉台地区の防災訓練にも出ていただきました。短期間とは言え、富里市民として安心して生活していただけるよう支援していきたいと思えます。</p>
会長	<p>続いて、議題（2）第2次富里市協働のまちづくり推進計画（改訂版）の令和5年度の進捗状況についてと、議題（3）第2次富里市協働のま</p>

事務局	<p>ちづくり推進計画（改訂版）の取組に対する総括意見（案）については、関連した議題のため、まとめたいと思います。事務局から説明をお願いします。</p> <p>－事務局より説明－</p>
会長	<p>推進計画の進捗状況について、委員の皆様から意見を伺い、次回、6月の会議で総括意見（案）として、まとめたいと思います。</p> <p>委員の皆様から、御意見はありますか。</p>
C 委員	<p>まず、20ページの地域づくり協議会等への人的支援について、「有識者・職員の派遣件数」2件と書かれています。第一小学校区と洗心小学校区のまちづくり協議会に職員を派遣したということですが、どのような内容か伺えますか。</p> <p>もう1点は意見になってしまいますが、32ページ、異分野、異世代の交流についてです。2月17日に開催した「まちづくり交流会」に私も参加させていただきましたが、非常によかったです。参加された方も好印象だったのではないかと肌で感じています。</p> <p>同内容の取組も継続していただければと思いますが、「ちい寄附」を行っているお店の方と市民の方の交流の場も検討いただければと思います。</p> <p>今までの交流会は、市民活動団体の交流がメインだったと思いますが、「異分野」として、外国人の方やまちづくり協議会の方との交流などもできる範囲で企画いただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。1点ずつ、事務局から説明いただければと思います。</p>
事務局	<p>まず、第一小学校区まちづくり協議会は定期的にサポートセンターで会議を開催していますので、一緒に参加させていただき板書の手伝いなどをしました。また、市役所内での担当課はどこかなど、問い合わせがあれば対応しました。アダプトプログラムにも一緒に参加し、活動しました。</p> <p>洗心小学校区のまちづくり協議会については、D委員の地元でもありますが、地区社協と一緒に事業を展開するということだったので、第1回目の会議に参加させていただきました。板書の手伝いや、気が付いた点などについて、お話をさせていただきました。その後に開催したクリスマス会にも参加し、地域の様子を見させていただきました。</p>

会長	ありがとうございます。まず、1点目の地域づくり協議会等への人的支援について説明いただきました。C委員、今の説明を聞いて、そのほかに聞きたいことはありますか。
C委員	ありません。
会長	ほかの委員の皆様はいかがでしょう。洗心小学校区の事業については、D委員の名前も出ていましたが、補足があればお願いします。
D委員	「地区社会福祉協議会」と「まちづくり協議会」で重なる部分が多く、地域の方から分かりづらいとの声があり、今後も座談会を開催し、どのような形がよいか、まとめようと思っています。皆様からもアドバイスをいただければと思いますので、よろしくお願いします。
会長	区長会として、E委員はいかがでしょう。
E委員	洗心小学校が廃校になり、子どもは、南小学校に通っていると思いますが、地区としては残っています。富里市として、令和6年度あたりから防災訓練を変えていこうとしているところです。区長会を通じて案内していますので、よろしくお願いします。
会長	ありがとうございます。20ページについては、よろしいでしょうか。続いて、32ページについて、異分野、異世代の交流について、C委員から積極的な評価と建設的な意見をいただきました。事務局として、いかがでしょうか。
事務局	まちづくり交流会が好評だったという意見をいただき、ありがとうございます。現在、令和6年度の交流会をどうしていくか、検討している最中です。本日、「ちい寄附」賛同店や外国人の方、まちづくり協議会の方との交流会をしてはどうかと意見をいただきましたので、いただいた意見を踏まえながら事業展開していきたいと思っています。
会長	ありがとうございました。ほかの委員の皆様は何か御意見はございますか。異分野と異世代、ダイバーシティというところで、おもしろいもの、新しいものが生まれそうだと思います。
F委員	異分野と異世代の話ではありませんが、進捗状況の2ページにある「四街道みんなで地域づくりセンター」とはどのような施設ですか。

事務局	<p>「四街道みんなで地域づくりセンター」は、「とみさと市民活動サポートセンター」と同じ役割の施設です。団体支援や情報発信、講座開催等を行っています。四街道の文化会館の中にあります。</p>
会長	<p>A 委員から補足していただけたらと思います。</p>
A 委員	<p>四街道のセンターは、開設して13年くらい経ちます。富里ほど立派な設備などはありませんが、コーディネーターが相談に乗ったり、地域に出たりして、地域づくりのサポートをしています。NPO クラブが運営を受託しています。</p> <p>進捗状況には、四街道のセンターを「視察」したと書かれています が、ニュースレターの編集委員会に富里のコーディネーターがお越しになったので、視察ではなく、研修にいらしたのだと思います。</p> <p>四街道のセンターは、物理的にはサポートできないので、一年中、情報発信などをしていかないと、地域づくりには役立たないので、中身を充実させようと頑張っています。</p>
D 委員	<p>四街道の地域づくりセンターでは、社会福祉協議会との関係性や課題などがありますか。</p>
A 委員	<p>開設当時は、似たような役割を持っているということで、御理解いただくことが大変でした。</p> <p>今は、共通で取り組む災害支援などの課題について、市の危機管理課と地域づくりセンター、ボランティアセンターの三者で災害ボランティアセンターを立ち上げるというところがあるので、地域づくりセンターが中心となって、三者連携の場を設けています。お互いの機能を確認し、市民に対してどうするかこの2年、検討しています。</p> <p>また、社協がやっている100人委員会にもコーディネーターが参加し、役割などのすり合わせなどをして、お互いにより協力関係を作っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。サポートセンター機能の部分で、ほかに何かございますか。</p>
A 委員	<p>課題部分で「周知不足」とありますが、開設して10年近く経っているので課題にしているのが、どうなのかと思います。また、市の事情もあるので、一概には言えませんが、サポートセンターの中に市民活動推進課の職員が入ったことにより、「入りづらさ」や「にぎやかさ」の部分が気になってはいます。また、総括意見を上げるに当たり、</p>

<p>会長</p>	<p>Facebook やInstagramを何回上げたか、ニュースレターを何回発行したか、具体的に数字を書きいただけたらと思います。ほかの部分でもアウトカムがなく、アウトプットだけ書いているだけでは、次に進めないし、総括した意見は述べられないと思っています。</p> <p>周知不足については、事務局から説明をお願いします。</p> <p>ありがとうございます。周知不足というところは、周知の方法なのか、ツールが十分なのかという部分もあると思います。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>推進計画の「現状と課題」については、実行計画を作成したときの文言がそのまま記載されています。現状といたしまして、ニュースレターやSNSを活用して周知をしています。数値につきましては、記載します。アウトカムについても、可能な限り数値で示そうと思います。</p> <p>センター内に市の職員がいて、難しい顔をしていると入りづらいということもあるので、反省する部分ではあります。今後は、入ってきやすい環境づくりに努めます。</p>
<p>G 委員</p>	<p>周知不足については、受け取る側の興味がそこまでないのかと思います。回覧板も必要なものだけ回せばいいという意見が地域で出ましたが、人によって必要な情報が異なります。</p> <p>市のデマンド交通についてもいろいろなところで周知していますけど、御存じない方もいます。受け取り側の認識不足もあると思います。</p> <p>富里に愛着を持っている方のパーセンテージなどもありますが、その数字をもっと上げて、興味を持っていただけるようにしたほうがよいと思います。</p> <p>市民活動フェスタの部分では、市民活動への関心度が高い数値で書かれていますので、そこから広げてみてはどうかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。G 委員のご意見は、広報の対象とねらい、ツール、媒体をしっかりと考えましょうという内容だと思います。まずは、興味を持っていただくという部分でイベントなど、ほかの部分が必要だという御示唆があったと思います。それを踏まえ、Facebook の対象者は誰なのか、Instagramの対象者は誰なのか、ニュースレターという紙媒体の対象者は誰なのか、回覧板で回す対象者は誰なのか、それぞれ読み手の人が変わったり、関心が変わったりすると思います。それを踏まえ、戦略的に、意図的に情報発信を考えていくことが必要かと思いました。</p> <p>協働の X (旧ツイッター) ではないですが、富里市の X は毎日のよ</p>

	<p>うに上げています。Xが響く層があるかもしれませんが、関心がないということもあります。紙で来るとよい層もありますので、いろいろな形で意図的に発信することが重要なのではないかと思いました。</p>
H 委員	<p>32ページの交流会について、私も参加させていただき、とてもよかったと思いました。異文化交流会は、外国人の方にどのように参加いただくかが、課題だと思います。地域に慣れたときに、お知らせしてボランティアや交流会に参加していただくのがいいかと思います。回数も増やして、皆さんに広げていったらよいと思います。</p> <p>もう1点、12ページのボランティア手帳の効果的な活用について、何年か前の市民活動フェスタの際に受付で見たのですが、ボランティアをやっている私たちが、存在を知りません。現在のボランティア手帳の扱いはどのようになっているのでしょうか。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ボランティア手帳の導入やねらいがどこにあるか、実態はどうか、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ボランティア手帳については、新たにボランティアを始める方を対象に作ったものです。現在は、みんなでボランティア体験や市民活動フェスタで配っている状況ですが、既にボランティアをやっている方についても配布を検討します。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ボランティア手帳は、ポイントが貯まると何かもらえますか。</p>
事務局	<p>子ども向けと大人向けでポイントが貯まる回数は異なりますが、スタンプが貯まると事業者からいただいた粗品と交換できます。</p>
会長	<p>委員会は、推進計画の進捗状況に意見を述べて、計画を検証する役割を求められていると思いますが、12ページだと「ボランティアの意欲を高めます」とありますが、意欲を検証する方法としては、アンケートなどをお考えでしょうか。</p>
C 委員	<p>ボランティア手帳についてよろしいでしょうか。手帳を作ったときに、私も委員でしたが、作り手と受けての捉え方のギャップがあるように感じます。なかなか今の状況で発展させていくことが、時代に則しているのか考えるときに来ていると思います。市の広報についてもLINEを登録していますが、見る、見ないにかかわらず、情報が来ますが、紙ベースだと自分で情報を取りにいかないといけないので、情報の発信等</p>

E 委員	<p>も含め、再検討する必要があると思います。</p> <p>今の御意見に関連する部分ですが、小学校にボランティアをしに来る中学生は結構多いです。富里の南部地区で「ワクワクフェスタ」を実施しましたが、小学生の面倒を見てくれました。ボランティア手帳の枠をこちらが決めてしまうと運用が難しいと思いますので、検討していただけたらと思います。</p>
C 委員	<p>先ほどの補足ですが、子どもたちに対しては、結構活用されていると思います。問題は大人向けの手帳です。言葉が足りなくてすみません。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>ボランティア手帳は、推進計画の期間内については目標が掲げられている事業です。成果を示す指標として、令和8年度までにボランティア手帳終了者を50名にしていることから、今回の期間内は、こちらの目標達成に向けて取り組んでまいります。次回の計画を策定する際は、本日いただいた御意見を参考に検討していきます。</p>
C 委員	<p>A 委員からもお話があった、サポートセンターと市民活動推進課が一緒になったことで、雰囲気が変わったことは、よい意味でも悪い意味でもあると思います。いろいろな方に意見を聞きましたが、確かに気軽に相談しづらくなったという意見もありました。ただ、区長会や青パトをやられている方は、サポートセンターと市民活動推進課、両方いなくていいので、便利だという話を聞きました。私も市民活動をしています。市民活動団体としてその視点がなかったと反省しているところです。市民活動と区長会など、両方に関わっている方はよいですが、新たに市民活動をする方は、つまらない質問をしてもよいのかなど、言いにくい部分はあります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。市民活動サポートセンター機能の部分について、7つの支援力を強化するとあります。皆様、御存じかもしれませんが、1つ目が相談対応力、2つ目が調査・情報収集力、3つ目が情報の編集・発信力、4つ目がコーディネート・ネットワーキング力、5つ目が資源の掘り起こし・提供力、6つ目が人材育成力、7つ目が政策提言力です。</p> <p>総合的に全て上がることが一番ですが、令和8年度までの計画なので、年度ごとに重点を置いて、年度ごとにステップアップする方法もあると思います。特にネットワーキングや資源の掘り起こし、政策提言に</p>

	<p>については、応用力が必要なため、基礎力があって提供できるものかと思 います。</p> <p>7つの能力について、「今はここまで来ている」、「ここを今年、や っていこう」など、来年度の事業に向けて、先を見据えた作り方をし ていただけたらと思います。それを踏まえ、四街道のセンターに行った際 の「技術向上」は7つの支援力のどの部分に当たるのか、どこに役立っ たかという評価につながると思います。それぞれの項目に合わせて、変 えていただければと思います。そのほか、何かございますか。</p>
B 委員	<p>市民活動サポートセンターは、市民活動推進課の下についている組織 なのか並列なのか、位置づけを教えてください。</p>
事務局	<p>市民活動推進課の事業中にサポートセンターの予算事業を持っていま すので、市民活動推進課の一部と捉えております。</p>
B 委員	<p>市民活動推進課だけでは、手が足りないので、サポートセンターが補 助していると捉えていいのでしょうか。</p>
事務局	<p>市民活動推進課では、交通安全、区長会、コミュニティ事業、多文化 共生など様々な事業を扱っておりますが、その事業の一つとしてサポー トセンター事業がありますので、市民活動推進課を構成する事業の一部 と捉えていただければと思います。</p>
B 委員	<p>センターの職員は市役所の職員ですか。</p>
事務局	<p>まちづくりコーディネーターは会計年度任用職員という扱いであり、 市の職員となっております。</p>
会長	<p>市民活動サポートセンターの運営協議会や委員会はあるのでしょ うか。</p>
事務局	<p>協議会や運営委員会はありません。</p>
会長	<p>協働のまちづくり推進委員会が、サポートセンターの事業の在り方な どを決めていくということでしょうか。</p>
事務局	<p>事業を決めていくのは、市になります。サポートセンター事業を補足 しますと、コーディネーターの人件費やコピー機などの予算等は市の正 職員が執行しています。</p>

会長	<p>独自のガバナンスの場所や運営の強化について検討する場所は、ないということでしょうか。</p>
事務局	<p>今後、運営をどう進めていくかということは、定期的なコーディネーター会議等で打ち合わせをして進めています。</p>
G 委員	<p>32ページの「異分野、異世代交流」の部分で外国人の参加が少ないとの話がありますが、外国人の方が1人で参加するのは勇気がいると思います。1回目は、日本人の知り合いが誘って参加すれば、次は1人でも参加しやすくなると思います。</p> <p>また、協働塾について、参加者が少ないと思いました。興味を持っていただかないと参加者につながらないと思いますので、どう興味を持ってもらうかが課題だと思います。</p>
事務局	<p>32ページの「異分野、異世代交流」のでは、様々な分野で活動する人や異なる世代の人を巻き込むという事業展開になっております。例えば、外国人が多く所属する市民活動団体などがあれば、そういった方が入ることは想定できると思いますが、個人の外国人の方がいきなり来て話すことは難しいと思います。外国人の方については、15ページの「多文化共生による市民活動の促進」という事業がございます。また、本日の議題にもありました多文化共生推進プランでは、国際交流・異文化理解、交流イベントの開催なども取組として設定しております。末廣農場でもスリランカのイベントを行っており、市民参画の一つになると思います。副会長から提案のあった「ちい寄附」賛同店の方の参加については、可能かと思いますが、外国人の方をこちらの交流会に呼ぶことは、なかなか難しいので別の機会になるかと思います。</p>
G 委員	<p>32ページについては、理解不足ですみません。全体的な話として、近所の方がイベントなどに誘えば、外国人の方も参加しやすくなるかなという意見として捉えていただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。G委員のお話は、協働や協働塾の参加に行く前に、幅広い段階があるので、そこをしっかりとしていこうというご提案なのではないかと理解しました。例えば、28ページに「富里の魅力発信」という事業がありますが、富里に関心を持ってもらうという幅広い部分だと思います。富里をよくしたいと思う方がいたら、「協働」という仕組みがある、「市民活動」というジャンルがあるということを知ってもらうことが次のステップだと思います。次に「参加してみよう」という</p>

	<p>方に対しては、「協働塾」のような人材育成の発信や取組が必要になり、それが進んでいくと「政策提言」が出てくると思います。</p> <p>現在は、27事業が並列になっていますが、まずは富里を知ってから、協働に参加するなど、ステップに合わせて事業がどう組み立てられるのかという整理もあっていいかなど、G委員の話を聞いて思いました。</p> <p>事務局からも説明がありましたが、本日いただいた意見を交え、5月上旬までに意見をまとめ、総括（案）を事務局で作ります。総括（案）は令和6年度の6月に開催する、第1回会議前までにいただき、会議で意見を出し合うという流れになります。</p> <p>議題の（4）に入りますが、特に議題は設定していません。委員の皆様から、何かございますか。</p> <p>特にないようなので、議題は終了いたします。進行を事務局へお返しします。</p>
事務局	<p>会長ありがとうございました。引き続き、次第4その他に移らせていただきます。</p> <p>（1）実施事業及びとみさと市民活動サポートセンターについて、事務局から一括で説明いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターナショナルデイ（スリランカ体験編・日本体験編） ・ちい寄附賛同店 ・ワンストップサービス意見交換会 ・とみさと協働塾団体支援講座 ・ニューズレターvol.32 ・申請のコツがわかる！市民活動支援補助金事前説明会 ・サポートセンターについて
H 委員	<p>インターナショナルデイについて、みんなの日本語の活動日と重なり参加できませんでした。みんなの日本語のメンバーの中にもスリランカの方がいるので、開催日や運営方法等についての相談などもしていただけたらよかったですと思いました。</p>
事務局	<p>インターナショナルデイにつきましては、令和6年度以降も継続して実施予定です。まずは、人数の多いフィリピンやベトナムなどの国から、実施していきたいと思います。多文化共生推進プランを策定し、インターナショナルデイに限らず、交流イベントも実施していきます。市民活動団体の皆様と協力していく必要がありますので、今後もよろしくお願ひします。</p>
A 委員	<p>協働塾について、参加者が2名や4名だと講師料がもったいないです。</p>

C 委員	<p>自分たちでできる内容であればお金をかけずにできますし、お金をかけるのであれば、もっと幅広いテーマで講師を呼べばよいと思います。</p> <p>まちづくり、地域づくりを考えたときに何が必要なテーマなのか、きちんと話し、計画を立てていく必要があると思います。このままの人数では、講師側にも失礼になります。参加者に対しても同じですが、もう少し企画を練ったうえで、講座を実施していただけたらと思います。</p> <p>もう1点ですが、次年度の予算や事業計画はありますか。他市の推進委員会では、事業計画なども委員に対して説明がありますが、私たちは実施した事業に対して意見を言えばよいのでしょうか。</p> <p>1つの計画を立てるときに、アイデアを出し合い、それをたたき台にして、議論して作り上げるには、相当な回数の議論を重ねなければいけないと思います。令和6年度が間に合わないのであれば、令和7年度に向けて、委員が意見を紙ベースなどで出せば、参考になるかもしれません。</p>
A 委員	<p>推進委員会が事業計画を作る役割ではないので、この場で来年度の事業を議論するという訳ではありません。市として予算が決まっているのであれば、このような事業をするというのが紙で1枚あれば足ります。</p> <p>また、その事業について「よい」、「悪い」を言うのではなく、事業計画を見て、何か取り入れてほしいことがあれば、少し意見を交わせればよいと思います。</p>
事務局	<p>例年、来年度の事業はお示ししていませんが、御意見いただきましたので、令和6年度の第1回会議で事業の概要についてお示ししたいと考えています。</p>
会長	<p>A 委員から、講座を組むに当たって、どのような地域課題があるかということも含め、よく検討する必要があるとの話がありました。</p> <p>本日は、総括意見に向けて、推進計画について網羅的に意見を出し合う場になりました。交流会について、こういうよいところがあったとか、まちづくり協議会への職員派遣についてこういうことをされたなど、たくさん話が出て、すごくよかったと思います。次回、議論することがあればこのような話が基になるかと思いますので、それぞれの取組を実施した後に、成果や課題を委員会に報告いただいてもよいかと感じました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。先ほど、セミナーの関係で参加人数が少ないという御指摘がございました。委員のおっしゃるとおり、団体の求めるニーズや周知の方法を考えながら、来年度のセミナーは検討していきます。</p>

